

名 称：地域内エコシステム推進WG 第2回WG
日 時：令和5年11月27日（月）午後1時半～4時半
会 場：Zoomミーティング
参加人数：15人（うち事務局5人）
要 旨：主な内容は以下のとおり

1 開会

2 趣旨説明 説明者：事務局（大館市産業部林政課 千葉 泰生）

3 事例紹介Ⅰ

テーマ：「中之条町における地域内エコシステムの取り組み」

講 師：群馬県中之条町農林課林業係 補佐兼係長 唐澤 敏之（からさわ としゆき）氏

・木質バイオマス等の再生可能エネルギーに関する取り組みのきっかけは東日本大震災。地域内エコシステム等による木質バイオマスボイラー導入を進めてきた。液体燃料の合理性に比べると、木質チップ等の固形燃料運用の難しさ（形状、含水率等）がある。

4 事例紹介Ⅱ

テーマ：「豪雪地域における防災DXと雪エネルギーの活用」

講 師：株式会社フォルテ 代表取締役 葛西 純（かさい じゅん）氏

・少ないリソースで効率的により多くの人を災害から守る“防災DX”の長期対策として、有事の電源確保に向けた「積雪発電」を考案。熱源として木質バイオマスを活用した実証試験を予定。

5 事業報告・意見交換

■事業報告

テーマ：「大館市における地域内エコシステムの取り組み」

報告者：大館市産業部林政課、一般社団法人日本森林技術協会

・市公共施設等への木質バイオマスボイラー導入による効果の見える化等の取り組みを報告。

■意見交換

・燃料となる木質チップ等を安定的に確保する仕組みづくり・体制が必要。【講師】

・ボイラー等の機器メンテナンスについてはなるべく国内技術者対応が望ましい。【講師】

・取り組み内容が整理されているので、対外的にもっと発信してほしい。【会員】

6 閉会

写 真：

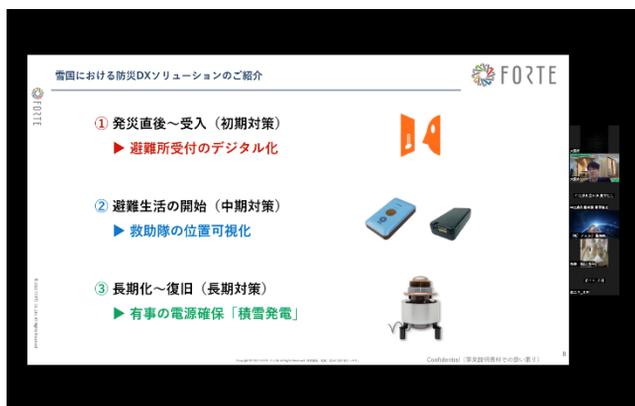


写真1 事例紹介Ⅱの様子



写真2 意見交換の様子